

ホームスクーラーの実力を養うために！

チア式 逆転の受験攻略法 その①

教科書が薄い「政経」で95点以上、
全国トップ300も可能！

——早大合格の堀井勇士君に伝えた「政経戦略法」

チア・につぼん代表 稲葉 寛夫

ホームスクーリングの強い目的は、①魂の救い、②子どもにキリストの弟子の心を育み、親やキリストとの真のきずなを養い育て、③「伝道・世界宣教」の志しを培っていくことです。「勉強」や「受験」ごときで恐れたり、揺るがされることのない、「強い目的」でもあります。

一方で、将来の伝道のためにも、子どもたちの選択の機会を拡げておくことも大事だと思います。もちろん、みんなで難関大学を目指そうということでもなく、大学に進んだから成功ということでもなく、それは新たな闘いの始まりであることは言うまでもありません。通信制大学の方が子どもたちを守りながら、資格取得等が進められるといった報告も日米共に多いです。また、大学に行かないで良かったという声も多いです。そのあたり、それぞれの子どもたちへの神様の計画の導きのままで良いと思いますし、その多様性を思いながら、いずれにしても、ホームスクーリングは神様が与えてくれた最善・最強の環境！強い3つの目的を心に、人生の土台・神様と親とのきずな・人格形成から始めましょう！受験等への恐れからの解放！とのメッセージの一環として、お伝えできればと思っています。

**『受験』は、『素質』ではなく、
『やり方』が大切！**

「『受験』は、『素質』ではなく、『やり方』が大切だ！あとは練習次第」とは、受験対策本を多数執筆されている和田秀樹さんの言葉です（「マンガ和田式逆転の受験勉強法」(学研) P3)。私も

そう思いますし、それぞれの子どもたちへの神様の御計画の中で、全国のホームスクーラーの皆さんにも当てはまる言葉だと思います。

今春、ホームスクーラーの堀井勇士君が第一志望の早稲田大学教育学部社会学科に合格されました。2年前にお父さんの卓さんに、「政経科目」の選択を勧めました。勇士君は、偏差値「55」あたりから政経をスタートし、2年後には「75」近辺を常に獲得し、早大合格の稼ぎ頭となっていました。今、学友たちに伝道をしながら、充実したキャンパスライフを送り、キリストにある霊的なムーブメントを目指して研鑽しています。

合格の一因となった「やり方」がヒントになればと思い、私と卓さん、勇士君親子とのやり取りの一部を加筆して報告します。

同時期に、やはり政経選択をアドバイスした田中喬士君は法政大学経営学部・経営戦略学科に合格しています。「政経選択については、予備校の校長に稲葉さんと同じことを言われました。教科書が薄いのが、しっかりやれば高得点を取りやすいので有利と言われました」ということです。



それで勇士君にも喬士君にも功を奏した受験戦略です。

政経を学ぶ意義——法律や社会も 変えていく使命達成への備え

単に受験テクニックというだけでなく、政経を学ぶことには、いろいろなメリットがあります。まず、政治や経済を中心に社会全体の仕組みや法制度を概観できるようになります。ホームスクーリングは、規制の概念や法制度を聖書にあって打ち破り、国会・政府・マスコミをリードし、法律や社会を変えていく使命も持っています。

政経の勉強を通し、憲法をほぼ暗記でき、また社会へのまなざしをより深められたことは、私にとって今日の「教育機会確保法」における文科大臣や文科省らとの面談、法改正への提言等にも役立ちました。こうした法律、社会の動きに強いホームスクーラーの育成も大事だと思います。

勇士君の親御さんへの「政経のススメ」

2016年春、勇士君が受験スケジュールを制作。その中の「政経」の選択を見て、以下のメールをお父さんの卓さんに送りました。

卓さんへ

勇士君が作成したCSS・受験ロードマップで「政経」の選択を見てうれしかったです。何か微力でも、手伝えるかなと思ってメールを書いています。

短期決戦向きに合う政経

ご存じの通り、僕は高校時代、本気で甲子園を目指す野球部にいて、受験勉強はほぼゼロでした。高2の駿台模試では、偏差値43ぐらいの超低空飛行だったと思います。

でも高3春、当時の「政経」の先生に教えてもらった方法のお陰で、政経だけは浪人時代の模試で偏差値は80前後、全国トップ3からトップ10の常連となれました。勇士君の世代とは30年以上の開きがありますので、最初は役に立たないかなと思いましたが、書店で問題集を調べたら、政経の問題は30数年前とそんなに変わっていませんでした。それで「政経」のコツは、少しはアドバイスできるかなと思った次第です。

勇士君と僕は共通する部分があると思います。夏から受験準備という短期決戦型、そして、政経を選択しようという心意気の2点です。

政経は教科書が薄く、難問が出せない

以下、当時の先生の言葉です。「政経は教科書が特別に薄い。問題集を10冊買ってきて一気に解き、それを各問題集、5回以上、できれば10回やって、絶対間違えなくなるまでやる。そうすれば、どんな試験でも、満点近く取れる。真剣に取り組めば、絶対有利。あとは志望校の過去問を7～10年分買って、これも5～10回やれば傾向が分かるし、間違えなくなる。傾向をつかんだ上で資料集のポイントを暗記すれば満点か、それに近い点数を必ず取れるようになるよ。政経は、どんなにひねった問題を出そうとしても、薄すぎて、出しようがないんだから」。僕はなるほどと思いました。そのまま素直に実行したら、結果がついてきて、どこの入試問題でも満点近い点数が取れるようになり、自信ができました。実際、受験科目の稼ぎ頭となって志望大学合格の扉が開かれたのでした。

問題集 10冊を各 10 回繰り返す

今回の勇士君のロードマップ（受験までの計画書）は、7～8種類の問題集と過去問、合わせて9冊を1年かけてやることになっています。でも、もっと良い案があるかと思います。以下、僕のプランです。

まず、教科書・資料集を5回読破。並行して、問題集や過去問10冊ずつ、計20冊を、できるだけ早く終える。問題集は1度だけではなく、3月から7月末までに各3回、8月末までには2～3回やって、6回目は100点を目指す。憲法や政経資料集はこの1年、常に持ち歩き、キーワード等はもちろん、ほとんど丸暗記に近い状況にする。将来、司法試験かマスコミ受験を目指す勢いで。これを夏ぐらいまでに行えば、秋以降は復習として、各4～5回やります。

僕は父の影響もあり、政経や社会問題の分野は小学生の頃から関心があり、新聞を読むのも大好きでした。それで、政経分野の蓄積があったかなとは思いますが。勇士君の政経分野への関心度やこれまでの蓄積によるとは思いますが、政経の教科書・問題集は薄いので、上記のプランに本気で取り組めば、12月末ごろに全国トップ300～500に入るのは可能だと思います。願わくは来年1月末ごろにはトップ100に入ってくれればよいなと思います。2月の受験の頃は、どんな問題が出て9割以上は取れるというところまで引き上げられたらいいかなと思います。

政経・頂点突破 ロードマップ

7月末まで	8月末まで	秋以降	1年間継続
教科書・資料集を5回読破	憲法・資料集を持ち歩き、 暗記	復習 (問題集や 過去問各10冊 ×5)	憲法や政経資料集の丸暗記
問題集や過去問各10冊を 解く×3	問題集や過去問各10冊を 解く×2～3		

政経選択の注意点 (慶応、上智大等は受けられない)

教科書が薄いので、受験を意識しなかった、短期攻略型には打ってつけです。しかし、注意点もあります。それは、時に「政経」で受験できない大学・学部があるという点です。

たとえば、慶応・上智大等です。早稲田大学で言えば、法・商・教育・社会学、また文学部（センター利用）では受験可能ですが、政経、国際教養等では地理や歴史（日本史、世界史）等での受験が必要です。首都圏で可能な大学は、中央大、明治大（文以外）、青学、立教、法政、学習院、東京理大（経営）、

関西では関関同立の4大学ほか各大学があり、ねらい目です。でも、政経で受けられない学部、大学もあるので、それぞれの志望、将来への神様からの召しに合わせて、チェックが必要です。国公立のセンター試験のために歴史や地理科目などのW選択も、時間セーブのためにはとても役立つのではと思います。

関心によっては、地理、日本史、 世界史もOK!

個人的には日本史等も好きでしたが、上記の通り、「時間効率」を考えて政経を選びました。でも、小さい時から準備すれば、もちろん、日本史、

世界史、地理等、好きな科目での選択もあります。最近も、鉄道等が小さい時から大好きなホームスクーラーと話し、「地理」の選択を勧めました。歴史が好きだというホームスクーラーには、世界史、日本史を、また哲学書が好きだというホームスクーラーには、既に選んでいた倫理・社会の継続を励ましました。聖書に基づく教科書「世界史」(チア発行)等と照らし合わせて「世界史」を学ぶと、とても興味深いですし、そこは神様の導きを聞きながら、選択していけば良いと思います。

その後の勇士君 偏差値 70—80 にジャンプ

勇士君の政経は、1年後は偏差値 60 台半ばに定着し、英語も高得点でしたが、国語が課題とのことでした。上記の方法で勉強を進めると、政経は2年後、偏差値 70—80 あたりに伸び、全国でもトップクラスへと成長し、国語・英語も伸び、志望校合格に導かれました。

現在、政治関係のサークルに所属しながら、友

人たちに福音も伝えつつ、勉学に励んでいるとのこと。先日のチア・コンベンションでも講義の合間を縫って元気な姿を見せてくれ、とてもうれしかったです。

以上、「神様のご計画の中で、受験は『素質』ではなくて『やり方だ!』、受験ごときでホームスクーリングの本旨を見失うことがないように願います」という、新しい角度からの提案です。

冒頭でお伝えした通り、みんなで難関大学を目指そう!ということでもなく、また、大学に入ったからそれでいいということでもありません。むしろ、闘いはそこからです。でも、「伝道・世界宣教」のためにも様々な資格や選択の引き出しを提供していくことも力になり、3つの強い目的を心にしつつ、誤った恐れや不安から解放され、ホームスクーリングのメリットを一層、活かしていく応援の一つの思い、書かせていただきました。どうぞ、自由に、皆さんのご意見、ご感想を寄せてください。

以下、堀井卓さんと勇士君からのコメントです。

息子の大学受験を終えて

堀井 卓

勇士が小4になった時、ホームスクールを始めました。勇士は学校大好き、友達大好き。学級委員に立候補し、勉強もそこそこ頑張っていました。

しかし、ある夜チア・にっぽんのホームページを読み、白馬セミナーに参加してホームスクールをすることを家族で決め、翌年 2007 年 4 月からホームスクールを開始しました。

家族で礼拝すること、聖書を読み御言葉を子どもたちの土台に据えること、祈り、主により頼む生活がスタート。妻のユリとも学歴でなく、イエス様の弟子として生涯を送って欲しいと祈っています。

ホームスクールを始めて、聖書と祈りから一日が始まり、お手伝い、勉強など一つ一つのことに勤勉に誠実に取り組むように励ましてきました。また、クリスチャンのサッカースクールが近くで始まりそこにも参加させていただきました。サッカーが大好きになり中学生になった時に地元のフットサルチームに入会。高2まで週3回の練習、土日の試合など積極的に参加していました(最近、勇士から「(地元の)フットサルは、仲間から悪い影響を受ける面もあり、弟の大使たちには、お父さん気を付けてね」と言われています)。練習は夜遅くまで、またピアノ、ギターが大好きで時間があれば弾いていて勉強は高卒認定が終わるとほとんどしていなかったようです。

しかし、高3になり社会に出ることを考えた時、「知らないことが多すぎる。大学に行き勉強したい」という話になりました。高3の一年間は、国公立をめざし8科目を勉強しましたが、一年目はどこにも合格することができませんでした。大学受験を甘く見ていました。特に、数学が苦手で、私立

文系に絞り勉強することにしました。

稲葉さんに相談し、上記の励ましを受け、社会は政治経済に絞りました。その結果、政治経済が大好きになり模試では毎回、90点以上がとれるようになっていました。英語は、高1の時に、チアの企画、「ドリームカナダ」に参加させていただき、その後もインターネットでの英会話を続けていたので得意科目でしたが、語彙力、文法などで点を落とさないため頑張っていました。最後まで苦労したのが、古文、漢文です。「何のためにこれを勉強するのか?」と後回しに。その結果、浪人一年目の偏差値は、政経・英語は70以上に、しかし、国語は39という数字に。一つの大学には合格できたのですが、希望する大学には届かず、もう一年頑張ることに。

浪人2年目は、予備校に通い、朝一番から最後まで予備校にいることを決め、授業後も自習室にこもり、古文、漢文もほぼ0から勉強を始め、政治経済では失点しないように、英語は難問、長文を早く読むことを心掛けたようです。「勉強を楽しむこと、能動的に取り組むこと、勉強は予備校の自習室で最後までする」ことを心がけたと言っていました。

結果発表当日。昨年は1校しか受からなかったのが、ドキドキしながら結果を見ると、明治大学、中央大学、そして念願の早稲田大学に合格することができました。

3年間の受験勉強で、勤勉に取り組むこと、大学で何をするか、将来の夢などいろいろと祈りつつ考えることができたと言っています。

勇士がイエス様の弟子としてさらに成長できるように、大学生活が用いられるように祈っています。

堀井勇士

メールありがとうございます。とても励まされました。教育学部の合格も神の計画と受け止めて精一杯努力していきたいと思います。

政経受験は僕にとっても合っていました。もともと政治経済に興味があったので勉強は苦にならず、むしろ楽しんでできました。

また覚える範囲は他の日本史や世界史と比べて少ないので、教科書を何周も勉強できました。ただ他の科目よりも論理的に考えたり、流れをしっかりとつかむことが必要になると感じます。

政経受験は難関大学になればなるほど、教科書以上の内容が多く問われます。なので日々新聞などを読みニュースに関心を持ち、また時事集、資料集などを利用して幅広く勉強する必要があります。もちろん一番大事なことは教科書の基礎的内容を完璧に理解していくことです。

ただ政経受験は受験学部が限られてくるので、行きたい大学や学部等、よく考えての選択は必要だと思います。今、大学生活、とても充実しています。勉強も楽しいです。僕にとっては政経選択はとても良かったと思って、すごく感謝しています。



サマー・キャンプにて (写真右)